

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 7 月 21 日 (2005.7.21)

【公開番号】特開 2000-312329 (P2000-312329A)

【公開日】平成 12 年 11 月 7 日 (2000.11.7)

【出願番号】特願 2000-51835 (P2000-51835)

【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 5/907

H 0 4 N 5/225

H 0 4 N 5/91

【F I】

H 0 4 N 5/907 B

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/91 J

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 12 月 2 日 (2004.12.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮像手段によって得られた撮影画像データの記録媒体に対する記録処理及び再生処理を行う画像処理装置であって、

撮影時及び再生時の前記画像処理装置の姿勢状態を検知する姿勢検知手段と、

前記姿勢検知手段により得られた撮影時の姿勢状態情報を、当該撮影によって得られた撮影画像データと共に前記記録媒体に記録する記録手段と、

前記記録媒体に記録された撮影画像データに対して画像回転処理を行う画像回転手段と

、

前記姿勢検知手段により得られた再生時の姿勢状態情報、及び前記記録媒体に記録された撮影時姿勢状態情報に基づいて、当該撮影時姿勢状態情報と共に前記記録媒体に記録された撮影画像データの前記画像回転処理を制御して再生処理を行う再生手段とを備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記記録媒体に記録された撮影画像データに対して画像変倍処理を行う画像変倍手段を備え、

前記再生手段は、前記姿勢検知手段により得られた再生時の姿勢状態情報、及び前記記録媒体に記録された撮影時姿勢状態情報に基づいて、当該撮影時姿勢状態情報と共に前記記録媒体に記録された撮影画像データの前記画像変倍処理及び前記画像回転処理を制御して再生処理を行うことを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記姿勢検知手段により得られた再生時の姿勢状態情報と、前記記録媒体に記録された前記撮像手段の撮影時姿勢状態情報とが合致するか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段での判定結果に基づいて、前記記録媒体に記録された撮影画像データ、及び前記記録媒体に記録された撮影画像データの前記画像変倍処理及び前記画像回転処理が前記再生手段により制御された当該撮影画像データの何れかを表示手段に表示させる表示制御手段とを備えることを特徴とする請求項 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記表示制御手段は、前記判定手段において、前記姿勢検知手段により得られた再生時の姿勢状態情報と、前記記録媒体に記録された撮影時姿勢状態情報とが合致しない場合に、前記再生手段により制御された当該撮影画像データを表示手段に表示させることを特徴とする請求項 3 に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

前記記録手段及び前記再生手段において、画像記録時または画像再生時に前記姿勢検知手段により得られる姿勢状態情報に基づいた処理を行うか否かの動作モードを設定するモード設定手段を備えることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記姿勢検知手段は、前記撮像手段が縦構図撮影姿勢状態であるか横構図撮影姿勢状態であるかを少なくとも検知し、

前記画像回転処理は、前記縦構図撮影姿勢状態と前記横構図撮影姿勢状態の何れかに対応した方向による前記表示手段での表示がなされるように、前記撮影画像データを回転させる処理を含むことを特徴とする請求項 3 に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

前記撮影画像データは、動画像データ及び静止画像データの少なくとも何れかを含むことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 8】

前記画像変倍手段は、表示手段に画像全体が表示されるように変倍することを特徴とする請求項 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 9】

撮像手段と、

前記撮像手段からの撮像画像データ又は再生中の画像データを表示する表示手段と、

前記撮像手段の姿勢状態を検知する姿勢検知手段と、

前記姿勢検知手段で検知した前記撮像手段の姿勢状態情報と共に、前記撮像手段で撮像した画像を記録媒体に記録する記録手段と、

前記記録媒体から読み込んだ画像を再生する際には、前記姿勢状態情報に応じて、読み込んだ画像を回転させて前記表示手段に表示し、撮影直後所定時間の間、撮影した画像を表示状態にしておくクイックレビューの際には、前記姿勢状態情報に関わらず、画像を回転させずに表示させるよう制御する表示制御手段とを備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 10】

前記姿勢検知手段により得られた再生時の姿勢状態情報と、前記記憶手段に記憶された撮影時姿勢状態情報とが合致するか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段での判定結果に基づいて、前記撮影時姿勢状態情報と関連付けられて前記記憶手段に記憶された撮影画像データに対して画像回転処理を行う画像回転手段とを備え、

前記表示制御手段は、前記判定手段での判定結果に基づいて、前記記憶手段に記憶された撮影画像データ、及び前記記憶手段に記憶された撮影画像データが前記画像回転手段により画像回転処理された該撮影画像データの何れかを表示するよう制御することを特徴とする請求項 9 に記載の画像処理装置。

【請求項 11】

前記姿勢検知手段は、前記撮像手段が縦構図撮影姿勢状態であるか横構図撮影姿勢状態であるかを少なくとも検知し、

前記画像回転手段は、前記縦構図撮影姿勢状態と前記横構図撮影姿勢状態の何れかに対応した方向による前記表示手段での表示がなされるように、前記撮影画像データを回転させることを特徴とする請求項 9 に記載の画像処理装置。

【請求項 12】

前記撮影画像データは、動画像データ及び静止画像データの少なくとも何れかを含むこ

とを特徴とする請求項 9 に記載の画像処理装置。

【請求項 13】

撮像手段によって得られた撮影画像データの記録媒体に対する記録処理及び再生処理を行う画像処理装置であって、

撮影時及び再生時の前記画像処理装置の姿勢状態を示す情報を入力する姿勢情報入力手段と、

前記姿勢情報入力手段により入力された撮影時の姿勢状態情報を、当該撮影によって得られた撮影画像データと共に前記記録媒体に記録する記録手段と、

前記記録媒体に記録された撮影画像データに対して画像回転処理を行う画像回転手段と

、
前記姿勢情報入力手段により入力された再生時の姿勢状態情報、及び前記記録媒体に記録された撮影時姿勢状態情報に基づいて、当該撮影時姿勢状態情報と共に前記記録媒体に記録された撮影画像データの回転処理を制御して再生処理を行う再生手段とを備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 14】

撮像手段と、

前記撮像手段からの撮像画像データ又は再生中の画像データを表示する表示手段と、

前記撮像手段の姿勢状態を示す情報を入力する姿勢情報入力手段と、

前記姿勢情報入力手段により入力された前記撮像手段の姿勢状態情報と共に、前記撮像手段で撮像した画像を記録媒体に記録する記録手段と、

前記記録媒体から読み込んだ画像を再生する際には、前記姿勢状態情報に応じて、読み込んだ画像を回転させて前記表示手段に表示し、撮影直後所定時間の間、撮影した画像を表示状態にしておくクイックレビューモードの際には、前記姿勢状態情報に関わらず、画像を回転させずに表示させるよう制御する表示制御手段とを備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 15】

複数の機器が通信可能に接続されてなる画像処理システムであって、

前記複数の機器のうち少なくとも 1 つの機器は、請求項 1 ～ 14 の何れか 1 項に記載の画像処理装置の機能を有することを特徴とする画像処理システム。

【請求項 16】

撮像手段によって得られた撮影画像データの記録媒体に対する記録処理及び再生処理を行うための画像処理制御方法であって、

撮影時及び再生時の前記撮像手段の姿勢状態を検知する姿勢検知ステップと、

前記姿勢検知ステップにより得られた撮影時の姿勢状態情報を、当該撮影によって得られた撮影画像データと共に前記記録媒体に記録する記録ステップと、

前記記録媒体に記録された撮影画像データに対して画像回転処理を行う画像回転ステップと、

前記姿勢検知ステップにより得られた再生時の姿勢状態情報、及び前記記録媒体に記録された撮影時姿勢状態情報に基づいて、当該撮影時姿勢状態情報と共に前記記録媒体に記録された撮影画像データの前記画像回転処理を制御して再生処理を行う再生ステップとを含むことを特徴とする画像処理制御方法。

【請求項 17】

前記記録媒体に記録された撮影画像データに対して画像変倍処理を行う画像変倍ステップを含み、

前記再生ステップは、前記姿勢検知ステップにより得られた再生時の姿勢状態情報、及び前記記録媒体に記録された撮影時姿勢状態情報に基づいて、当該撮影時姿勢状態情報と共に前記記録媒体に記録された撮影画像データの前記画像変倍処理及び前記画像回転処理を制御して再生処理を行うことを特徴とする請求項 16 に記載の画像処理制御方法。

【請求項 18】

前記姿勢検知ステップにより得られた再生時の姿勢状態情報と、前記記録媒体に記録さ

れた撮影時姿勢状態情報とが合致するか否かを判定する判定ステップと、

前記判定ステップでの判定結果に基づいて、前記記録媒体に記録された撮影画像データ、及び前記記録媒体に記録された撮影画像データを前記再生ステップにより制御された当該撮影画像データの何れかを表示手段に表示させる表示制御ステップとを含み、

前記画像回転ステップ及び前記画像変倍ステップはそれぞれ、前記判定ステップでの判定結果に基づいて処理実行するステップを含むことを特徴とする請求項１７に記載の画像処理制御方法。

【請求項１９】

前記表示制御ステップは、前記姿勢検知ステップにより得られた再生時の姿勢状態情報と、前記記録媒体に記録された撮影時姿勢状態情報とが前記判定ステップにより合致しないと判定された場合に、前記再生ステップにより制御された当該撮影画像データを表示手段に表示させることを特徴とする請求項１８に記載の画像処理制御方法。

【請求項２０】

前記記録ステップ及び前記再生ステップにおいて、前記姿勢検知ステップにより得られる姿勢状態情報に基づいた処理を行うか否かの動作モードを設定するモード設定ステップを含むことを特徴とする請求項１６又は１７に記載の画像処理制御方法。

【請求項２１】

前記記録ステップでの記録データが記憶された記憶手段内の撮影画像データの表示を行う表示ステップを含むことを特徴とする請求項１６又は１７に記載の画像処理制御方法。

【請求項２２】

前記姿勢検知ステップは、前記撮像手段が縦構図撮影姿勢状態であるか横構図撮影姿勢状態であるかを少なくとも検知するステップを含み、

前記画像回転ステップは、前記縦構図撮影姿勢状態と前記横構図撮影姿勢状態の何れかに対応した方向による前記表示手段での表示がなされるように、前記撮影画像データを回転させるステップを含むことを特徴とする請求項１８に記載の画像処理制御方法。

【請求項２３】

前記撮影画像データは、動画像データ及び静止画像データの少なくとも何れかを含むことを特徴とする請求項１６又は１７に記載の画像処理制御方法。

【請求項２４】

前記記録ステップ及び前記再生ステップにおいて、画像記録時又は画像再生時に前記姿勢検知ステップにより得られる姿勢状態情報に基づいた処理を行うか否かの動作モードを設定するモード設定ステップを含むことを特徴とする請求項１６又は１７に記載の画像処理制御方法。

【請求項２５】

前記画像変倍ステップは、表示手段に画像全体が表示されるように変倍することを特徴とする請求項１７に記載の画像処理制御方法。

【請求項２６】

撮像手段により画像撮像する撮像ステップと、

前記撮像ステップにより得られた撮像画像データ又は再生中の画像データを表示する表示ステップと、

前記撮像手段の姿勢状態を検知する姿勢検知ステップと、

前記姿勢検知ステップにより検知された前記撮像手段の姿勢状態情報と共に、前記撮像ステップにより得られた撮像画像データを記録手段に記録する記録ステップと、

前記記録手段から読み込んだ画像を再生する際には、前記姿勢状態情報に応じて、読み込んだ画像を回転させて表示し、撮影直後所定時間の間、撮影した画像を表示状態にしておくクイックレビューの際には、前記姿勢状態情報に関わらず、画像を回転させずに表示させるよう制御する表示制御ステップとを含むことを特徴とする画像処理制御方法。

【請求項２７】

前記姿勢検知手段により得られた再生時の姿勢状態情報と、前記記憶手段に記憶された撮影時姿勢状態情報とが合致するか否かを判定する判定ステップと、

前記判定ステップでの判定結果に基づいて、前記撮影時姿勢状態情報と関連付けられて前記記憶手段に記憶された撮影画像データに対して画像回転処理を行う画像回転ステップとを含み、

前記表示制御ステップは、前記判定ステップでの判定結果に基づいて、前記記憶手段に記憶された撮影画像データ、及び前記記憶手段に記憶された撮影画像データが前記画像回転ステップにより画像回転処理された該撮影画像データの何れかを表示するように制御するステップを含むことを特徴とする請求項 26 に記載の画像処理制御方法。

【請求項 28】

前記姿勢検知ステップは、前記撮像手段が縦構図撮影姿勢状態であるか横構図撮影姿勢状態であるかを少なくとも検知するステップを含み、

前記画像回転ステップは、前記縦構図撮影姿勢状態と前記横構図撮影姿勢状態の何れかに対応した方向による表示がなされるように、前記撮影画像データを回転させるステップを含むことを特徴とする請求項 26 に記載の画像処理制御方法。

【請求項 29】

前記撮影画像データは、動画像データ及び静止画像データの少なくとも何れかを含むことを特徴とする請求項 26 に記載の画像処理制御方法。

【請求項 30】

撮像手段によって得られた撮影画像データの記録媒体に対する記録処理及び再生処理を行うための画像処理制御方法であって、

撮影時及び再生時の前記撮像手段の姿勢状態を示す情報を入力する姿勢情報入力手段と

、
前記姿勢情報入力手段により入力された撮影時の姿勢状態情報を、当該撮影によって得られた撮影画像データと共に前記記録媒体に記録する記録手段と、

前記記録媒体に記録された撮影画像データに対して画像回転処理を行う画像回転手段と

、
前記姿勢情報入力手段により入力された再生時の姿勢状態情報、及び前記記録媒体に記録された撮影時姿勢状態情報に基づいて、当該撮影時姿勢状態情報と共に前記記録媒体に記録された撮影画像データの回転処理を制御して再生処理を行う再生ステップとを含むことを特徴とする画像処理制御方法。

【請求項 31】

撮像手段により画像撮像する撮像ステップと、

前記撮像手段からの撮像画像データ又は再生中の画像データを表示する表示ステップと

、
前記撮像手段の姿勢状態を示す情報を入力する姿勢情報入力ステップと、

前記姿勢情報入力ステップにより入力された前記撮像手段の姿勢状態情報と共に、前記撮像手段で撮像した画像を記録手段に記録する記録ステップと、

前記記録手段から読み込んだ画像を再生する際には、前記姿勢状態情報に応じて、読み込んだ画像を回転させて表示し、撮影直後所定時間の間、撮影した画像を表示状態にしておくクイックレビューモードの際には、前記姿勢状態情報に関わらず、画像を回転させずに表示させるよう制御する表示制御ステップとを含むことを特徴とする画像処理制御方法。

【請求項 32】

前記請求項 16 ～ 31 の何れか 1 項に記載の画像処理制御方法のステップをコンピュータに実行させるためのコンピュータプログラムを記憶したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 1 】

【 発明の属する技術分野 】

本発明は、例えば、静止画像や動画像を撮像、記録、再生するための画像処理装置、画像処理制御方法、画像処理システム、及びコンピュータ読み取り可能な記憶媒体に関するものである。

【 手続補正 3 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 0

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 0 】

【 課題を解決するための手段 】

本発明の画像処理装置は、撮像手段によって得られた撮影画像データの記録媒体に対する記録処理及び再生処理を行う画像処理装置であって、撮影時及び再生時の前記画像処理装置の姿勢状態を検知する姿勢検知手段と、前記姿勢検知手段により得られた撮影時の姿勢状態情報を、当該撮影によって得られた撮影画像データと共に前記記録媒体に記録する記録手段と、前記記録媒体に記録された撮影画像データに対して画像回転処理を行う画像回転手段と、前記姿勢検知手段により得られた再生時の姿勢状態情報、及び前記記録媒体に記録された撮影時姿勢状態情報に基づいて、当該撮影時姿勢状態情報と共に前記記録媒体に記録された撮影画像データの前記画像回転処理を制御して再生処理を行う再生手段とを備えることを特徴とする。

【 手続補正 4 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 1

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 1 】

また、本発明の他の画像処理装置は、撮像手段と、前記撮像手段からの撮像画像データ又は再生中の画像データを表示する表示手段と、前記撮像手段の姿勢状態を検知する姿勢検知手段と、前記姿勢検知手段で検知した前記撮像手段の姿勢状態情報と共に、前記撮像手段で撮像した画像を記録媒体に記録する記録手段と、前記記録媒体から読み込んだ画像を再生する際には、前記姿勢状態情報に応じて、読み込んだ画像を回転させて前記表示手段に表示し、撮影直後所定時間の間、撮影した画像を表示状態にしておくクイックレビューの際には、前記姿勢状態情報に関わらず、画像を回転させずに表示させるよう制御する表示制御手段とを備えることを特徴とする。

【 手続補正 5 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 2

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 2 】

また、本発明のその他の画像処理装置は、撮像手段によって得られた撮影画像データの記録媒体に対する記録処理及び再生処理を行う画像処理装置であって、撮影時及び再生時の前記画像処理装置の姿勢状態を示す情報を入力する姿勢情報入力手段と、前記姿勢情報入力手段により入力された撮影時の姿勢状態情報を、当該撮影によって得られた撮影画像データと共に前記記録媒体に記録する記録手段と、前記記録媒体に記録された撮影画像データに対して画像回転処理を行う画像回転手段と、前記姿勢情報入力手段により入力された再生時の姿勢状態情報、及び前記記録媒体に記録された撮影時姿勢状態情報に基づいて、当該撮影時姿勢状態情報と共に前記記録媒体に記録された撮影画像データの回転処理を制御して再生処理を行う再生手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、本発明のその他の画像処理装置は、撮像手段と、前記撮像手段からの撮像画像データ又は再生中の画像データを表示する表示手段と、前記撮像手段の姿勢状態を示す情報を入力する姿勢情報入力手段と、前記姿勢情報入力手段により入力された前記撮像手段の姿勢状態情報と共に、前記撮像手段で撮像した画像を記録媒体に記録する記録手段と、前記記録媒体から読み込んだ画像を再生する際には、前記姿勢状態情報に応じて、読み込んだ画像を回転させて前記表示手段に表示し、撮影直後所定時間の間、撮影した画像を表示状態にしておくクイックレビューモードの際には、前記姿勢状態情報に関わらず、画像を回転させずに表示させるよう制御する表示制御手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明の画像処理システムは、複数の機器が通信可能に接続されてなる画像処理システムであって、前記複数の機器のうち少なくとも1つの機器は、前記画像処理装置の機能を有することを特徴とする。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明の画像処理制御方法は、撮像手段によって得られた撮影画像データの記録媒体に対する記録処理及び再生処理を行うための画像処理制御方法であって、撮影時及び再生時の前記撮像手段の姿勢状態を検知する姿勢検知ステップと、前記姿勢検知ステップにより得られた撮影時の姿勢状態情報を、当該撮影によって得られた撮影画像データと共に前記記録媒体に記録する記録ステップと、前記記録媒体に記録された撮影画像データに対して画像回転処理を行う画像回転ステップと、前記姿勢検知ステップにより得られた再生時の姿勢状態情報、及び前記記録媒体に記録された撮影時姿勢状態情報に基づいて、当該撮影時姿勢状態情報と共に前記記録媒体に記録された撮影画像データの前記画像回転処理を制御して再生処理を行う再生ステップとを含むことを特徴とする。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

また、本発明の他の画像処理制御方法は、撮像手段により画像撮像する撮像ステップと、前記撮像ステップにより得られた撮像画像データ又は再生中の画像データを表示する表示ステップと、前記撮像手段の姿勢状態を検知する姿勢検知ステップと、前記姿勢検知ステップにより検知された前記撮像手段の姿勢状態情報と共に、前記撮像ステップにより得られた撮像画像データを記録手段に記録する記録ステップと、前記記録手段から読み込んだ画像を再生する際には、前記姿勢状態情報に応じて、読み込んだ画像を回転させて表示

し、撮影直後所定時間の間、撮影した画像を表示状態にしておくクイックレビューの際には、前記姿勢状態情報に関わらず、画像を回転させずに表示させるよう制御する表示制御ステップとを含むことを特徴とする。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、本発明のその他の画像処理制御方法は、撮像手段によって得られた撮影画像データの記録媒体に対する記録処理及び再生処理を行うための画像処理制御方法であって、撮影時及び再生時の前記撮像手段の姿勢状態を示す情報を入力する姿勢情報入力手段と、前記姿勢情報入力手段により入力された撮影時の姿勢状態情報を、当該撮影によって得られた撮影画像データと共に前記記録媒体に記録する記録手段と、前記記録媒体に記録された撮影画像データに対して画像回転処理を行う画像回転手段と、前記姿勢情報入力手段により入力された再生時の姿勢状態情報、及び前記記録媒体に記録された撮影時姿勢状態情報に基づいて、当該撮影時姿勢状態情報と共に前記記録媒体に記録された撮影画像データの回転処理を制御して再生処理を行う再生ステップとを含むことを特徴とする。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

また、本発明のその他の画像処理制御方法は、撮像手段により画像撮像する撮像ステップと、前記撮像手段からの撮像画像データ又は再生中の画像データを表示する表示ステップと、前記撮像手段の姿勢状態を示す情報を入力する姿勢情報入力ステップと、前記姿勢情報入力ステップにより入力された前記撮像手段の姿勢状態情報と共に、前記撮像手段で撮像した画像を記録手段に記録する記録ステップと、前記記録手段から読み込んだ画像を再生する際には、前記姿勢状態情報に応じて、読み込んだ画像を回転させて表示し、撮影直後所定時間の間、撮影した画像を表示状態にしておくクイックレビューモードの際には、前記姿勢状態情報に関わらず、画像を回転させずに表示させるよう制御する表示制御ステップとを含むことを特徴とする。

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

本発明のコンピュータ読み取り可能な記憶媒体は、前記記載の画像処理制御方法のステップをコンピュータに実行させるためのコンピュータプログラムを記憶したことを特徴とする。

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 1
【補正方法】 削除
【補正の内容】

【手続補正 1 5】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 2
【補正方法】 削除
【補正の内容】

【手続補正 1 6】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 3
【補正方法】 削除
【補正の内容】

【手続補正 1 7】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 4
【補正方法】 削除
【補正の内容】

【手続補正 1 8】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 5
【補正方法】 削除
【補正の内容】

【手続補正 1 9】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 6
【補正方法】 削除
【補正の内容】

【手続補正 2 0】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 7
【補正方法】 削除
【補正の内容】

【手続補正 2 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 8
【補正方法】 削除
【補正の内容】

【手続補正 2 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 9
【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 2 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 3 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 3 1 3】

【発明の効果】

以上説明したように本発明では、撮影時においては、撮影時の撮像手段の姿勢状態（撮像手段が設けられている装置又はシステムの姿勢状態）を検知し、その検知結果（撮影時姿勢状態情報）を、その撮影時に得られた撮影画像データと共に記録媒体に記録又は記憶手段に記憶する。この撮影画像データを再生するときには、このときの撮像手段の姿勢状態を検知し、その検知結果（再生時姿勢状態情報）と、上記撮影画像データと共に記録又は記憶された撮影時姿勢状態情報とが合致しているか否かを判定する。

この判定の結果が、それぞれの情報が合致していなかった場合には、上記撮影画像データが正しい方向で表示されるように、上記撮影画像データに対して画像回転処理を行う。このように、本発明では、再生時において、撮影画像データを表示する際には、当該撮影画像データが常に正しい方向（撮影画像を表示手段で表示して観察する使用者にとって確認しやすい方向）に表示されるように構成した。

これにより、例えば、撮影時に画像処理装置をほぼ 90 度傾けて縦位置として撮影を行って得た撮影画像を、再生時に画像処理装置を元の横位置として画像処理装置背面に備えられた表示手段にて再生表示する場合、撮影画像が 90 度回転されて表示手段に表示されるため、従来のように撮影画像の縦横が 90 度異なるということはない。

【手続補正 3 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 3 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 3 1 6】

また、記録媒体から読み込んだ画像を再生する際には、姿勢状態情報に応じて、読み込んだ画像を回転させて表示し、撮影直後所定時間の間、撮影した画像を表示状態にしておくクイックレビューの際には、姿勢状態情報に関わらず、画像を回転させずに表示するように構成した場合、処理の簡略化及び節電を図ることができ、撮影姿勢がかわらないため、ユーザが所望する撮影ができなかった場合等の撮りなおしをスムーズに行える。